

■ 男女共同参画を推進する具体的施策の取組状況調査(平成19年度)

基本目標	方針	施策の方向	具体的施策 (平成18年度～平成23年度)	平成19年度取組事項(具体的に)	実績数値 (単位)	担当課
I 男女が互いの人権を認め合う意識づくり	1 男女共同参画意識の啓発	(1) 広報・啓発活動の推進	1 男女共同参画に関する研修会の開催 ① 市民対象に、男女共同参画啓発講演会の開催(1回/年) ② 市職員対象に、男女共同参画啓発研修会の開催(1回/年)	1 男女共同参画に関する研修会の開催 ① 市民(市職員を含む)対象に男女共同参画社会啓発講演会を開催した。 6月27日(水)開催 参加者123名 ① H20.2.7 男女共同参画学習会開催(定員100人)於:文化交流館 ② H19.7.6 他 男女共同参画ゼミナール 於:岡山市ウイズセンター	1回 1回 6回	社会教育課 総務課 総務課・企画課
			2 広報紙、ケーブルテレビ、パンフ等による広報・啓発活動 ① 広報紙への男女共同参画に関する記事掲載 ② 人権啓発リーフレット「きずな」の作成・配布(1回/年・14,000部)	2 広報紙、ケーブルテレビ、パンフ等による広報・啓発活動 ② 人権啓発リーフレット「きずな」を作成し、広報紙(11月号)配布時に各町内会を通じて各戸に配布。また市内各校園や公民館に配布。各種研修会で活用した。	1回/年 14,000部	企画課 社会教育課
		(2) 調査研究・情報提供	1 男女共同参画に関する情報収集、実態の把握	1 各部署における男女共同参画事業取組実績の調査・とりまとめを実施し、目標達成度の検証とさらなる取り組みへの喚起を促した。		企画課
	2 男女共同参画意識を高めるための教育・学習の充実	(1) 家庭教育の推進	1 人権教育、男女平等教育の推進 ① 学習機会の充実(PTA対象研修会) ② 情報の提供	1 人権教育、男女平等教育の推進 ① 各校園がPTA対象に人権教育研修会を実施した。内容的には子どもに関する人権が多かったが、男女共同参画についても取り上げた。PTA1,625人。講師27人。ポスター等の掲示を行った。「男女共同参画週間」6/23～6/29	41校園(幼・小・中) 1回/年	社会教育課
		(2) 学校教育の推進	1 人権教育、男女平等教育の推進 ① 学校教育全体(教科指導、進路指導、生徒指導など)での実践 ② 教職員研修の充実	1 人権教育、男女平等教育の推進 ① 幼児・児童・生徒への指導については、各校において年間計画に基づき計画的に実施。 ② 教職員については、校内研修の中で実施。また、各校の担当が、県教育委員会主催の研修会に参加し、研修の内容を校内で還元した。		学校教育課 学校教育課
		(3) 地域等における学習の推進	1 人権教育、男女平等教育の推進 ① 学習機会の充実 ② 情報の提供 ③ リーダーの養成 ④ 社会教育施設等の活用の支援	1 人権教育、男女平等教育の推進 ①②③を実施 指導者養成を目的として人権問題学習講座を開催し、各公民館長から推薦された受講生が人権問題について研修した。6回開催 受講者延べ555人 6回開催の中で1回は男女共同参画に焦点をあてて実施した。	1回/年	社会教育課

I 男女が互いの人権を認め合う意識づくり	3 人権尊重意識の高揚	(1) 女性に対するあらゆる暴力根絶のための環境整備	1 人権に関する相談体制の充実 ① 弁護士による無料法律相談の開催 (15回/年) ② 人権擁護委員による人権相談の開催 (38回/年) ③ 高齢者の人権相談	1 人権に関する相談体制の充実 ① 市役所12回、成羽地域3回開催。広報カレンダーなどで広報をした。市役所、各地域で計47回開催。年度初めに開催日の告知チラシを全戸配布した。 ② 人権相談の開催	①15回、73名 (うち女性36名) ②47回、30名 (うち女性10名)	市民課 市民課 高齢福祉課
			2 関係機関との連携によるDV相談と救済体制の充実	2 関係部署(都市整備課・健康づくり課・警察)や女性相談所と連携して対応するとともに、自立支援のための各種施策が必要な場合は、情報提供を行い対処した。	平成19年度相談実績 8件	社会福祉課
	(2) メディアにおける人権の尊重	1 広報紙等の発行における人権への配慮				企画課

基本目標	方針	施策の方向	具体的施策 (平成18年度～平成23年度)	平成19年度取組事項(具体的に)	実績数値 (単位)	担当課
II あらゆる分野へ男女がともに参画できる社会づくり	1 政策・方針決定の場への女性の参画拡大	(1) 各種審議会・委員会等への女性の積極的登用	1 各種審議会・委員会等への女性の登用率の向上促進	1 男女共同参画基本計画に定める目標値達成のため、各部署への意識づけを行い、改選時に登用率向上を図った。	登用率 20.6%	企画課
		(2) 女性の人材育成と管理・指導的立場への登用促進	1 女性の昇任・登用の積極的に実施 2 女性管理職研修の実施 3 女性を対象とする政策実務研修への派遣	1 平成20年度人事異動で女性の昇格者21人(内課長級3人、補佐級7人、係長級9人他) 2 自治大学校第3部91期生(7/4～7/27)として1人派遣 市町村アカデミー「パワーアップ女性管理職」(10/30～11/2) 3 国際文化研究所「はばたけ女性リーダー」(11/29～12/6)	21人 1人 3人	総務課 総務課 総務課
		(1) 家庭生活での男女共同参画の促進	1 家庭生活に必要な技術等の取得 ① 介護講習会の開催(2回/年) 2 男性への各種教室への参加促進 ① 家族介護教室(15会場/年)	1、少子高齢化の進展や、高齢世帯の増加など介護性が高まるなか、家庭・地域における介護者・ボランティアの育成を図るため実施した。 ①家族介護教室:高齢者を介護している男性介護者を含む家族等に、介護方法や介護予防、介護者の健康づくり、食事づくり等の家事の方法についての家族介護教室を開催した。	2回/年 9会場で実施 参加者241名 内男性10名	商工観光課 高齢福祉課
	2 家庭・地域社会における男女共同参画の促進	(2) 地域活動等への男女共同参画の促進	1 地域づくり活動等への男女共同参画の促進 ① 各種まちづくり講座、リーダー研修会等への女性の参加促進 2 女性消防団員の加入促進 ① 消防団への女性消防団員の加入促進	2 女性消防団員の加入促進 ①平成19年10月1日、女性消防団員25名入団。火災予防広報活動の一環として、一般住宅の火の元点検を消防職員とともに実施。また、応急手当の普及啓発活動を推進していくため、応急手当普及員の認定講習の受講を計画中である。	25名	市民課 消防総務課
		3 国際交流・国際貢献の推進	(1) 国際交流活動の推進	1 市民団体との連携 高梁市国際交流協議会の活動支援 ① 外国人学生と市民の交流(1回/年) ② 国際姉妹都市中学生の受入れ(1回/年) ③ 外国文化交流との交流(1回/年) ④ 留学生と市民の交流(1回/年)	②8月3日から10日まで国際姉妹都市アメリカ合衆国オハイオ州トロイ市に市内中学生18名と引率4名を派遣した。派遣団はホームステイ先の家族の一員として、トロイ市の風習やイベントに参加し、国際感覚の向上に努めた。 ③岡山県が友好提携している中国の江西省雑伎団14名を7戸のホストファミリーで受入を行った。また、8月25日に雑伎団高梁公演を開催し、異文化を体験した。 ④12月8日に留学生27名、市民20名の参加により実施。午前中はトークショー、午後からは食事会を行い、異文化に直接ふれ合うことでの見識向上を目指した。	
	(2) 国際貢献活動の推進		1 国際貢献活動への参加促進 2 国際貢献に取り組む団体の活動支援	1 会議等において岡山県国際課、岡山県国際交流協会が開催する国際貢献セミナーのチラシ配布を行い、参加啓発に努めた。		企画課
	III 男女がいきいきと働ける環境づくり	1 働く場における男女共同参画のための環境整備	(1) 男女の均等な雇用機会と待遇の確保	1 男女の均等な雇用の推進 ① 岡山労働局、財団法人21世紀職業財団岡山事務所との連携		
(2) 働きやすい職場環境の整備			1 育児休業、育児・介護等の休暇制度の活用促進	1 育児休業、育児・介護等の休暇制度の周知と活用促進を図った。	育児休業取得者数10人 育児休業延長者数2人 介護休暇取得者数1人	総務課

基本目標	方針	施策の方向	具体的施策 (平成18年度～平成23年度)	平成19年度取組事項(具体的に)	実績数値 (単位)	担当課
Ⅲ 男女がいいきいと働ける環境づくり	1 境整備 働く場における男女共同参画のための環境整備	(2) 働きやすい職場環境の整備	1 セクシャル・ハラスメント防止のための啓発促進 ① 岡山労働局、財団法人 21 世紀職業財団岡山事務所との連携 ② 企業訪問等による啓発 (1 回/年) 2 育児休暇、介護休暇の取得促進 ① 岡山労働局、財団法人 21 世紀職業財団岡山事務所との連携 ② 企業訪問等による啓発 (1 回/年)			商工観光課
Ⅲ 男女がいいきいと働ける環境づくり	2 女性の就業等支援の促進	(1) 女性の職業能力開発と再就職等の支援	1 職業能力開発のための講座等の開催 ① 訪問介護員養成研修 (1 会場/年) 2 女性の再就職等の支援 ① 再就職セミナーの開催 (1 回/年) 3 就職相談及び職業情報資料の提供 ① 母子自立支援員による相談体制の充実 ② シルバー人材センターとの連携	1 職業能力開発のための講座等の開催 ①在宅要援護者の生活の質向上(自立支援)を図るために介護知識・技術を有する介護者が地域において求められている。このため、高い倫理性、豊かな人間性の形成や専門性の高い身体介護能力の獲得を目的とし、訪問介護員養成研修(2級課程)、難病患者等ホームヘルパー養成研修(難病基礎課程Ⅰ)、精神障害の理解と援助方法についての研修を実施した。 実施期間:平成19年7月12日(木)～平成19年9月11日(火) (受講者1人当たり) 研修総時間:153時間(2級課程137時間・難病課程6時間・精神障害14時間) 研修総期間:28日間(2級課程23日・難病課程3日・精神障害4日) 3 就職相談及び職業情報資料の提供 ①ハローワークインターネットサービスで検索し、詳細情報の提供や、ハローワークへ同行し援助した。 ②社会福祉法人高梁市社会福祉協議会へミニシルバー人材センター業務を委託し、高齢者の社会参加を促進した。	修了者数:18名 男性4名 女性14名 平成19年度相談実績35件 登録者322名中、113名が女性	川上地域局住民福祉課 社会福祉課 高齢福祉課
		(2) 自営業等に従事する女性の支援	1 労働者としての権利の確保 ① 岡山労働局、財団法人 21 世紀職業財団岡山事務所との連携 ② 会議等でのパンフレット等の配付による啓発促進	1 労働者としての権利の確保 ②12月10日に開催した高梁市農村生活交流グループ協議会の役員会で、市内7グループの代表者にパンフレット(10部ずつ)を配布し、グループ員への配布による啓発を依頼した。	70部配布	商工観光課 農林課

Ⅲ 男女がいそいそと働ける環境づくり	3 家庭と職場の両立支援	(1) 男女の家庭的責任の啓発	1 労働時間短縮の推進 ① 国県との連携による推進			商工観光課
		(2) 育児・介護との両立のための環境整備	1 育児・介護休業の普及啓発 ① 岡山労働局、財団法人 21 世紀職業財団岡山事務所との連携 ② 企業訪問等による啓発 (1 回/年) 2 子の看護休暇の対象拡大 ① 学校就学の始期に達するまでの子から小学校 3 年までの拡大	2 子の看護休暇の対象拡大 ① 子の看護休暇の取得促進を図った。(平成 18 年度に小学校 3 年までに拡大)	延べ 35 日取得	商工観光課 総務課

基本目標	方針	施策の方向	具体的施策 (平成18年度～平成23年度)	平成19年度取組事項(具体的に)	実績数値 (単位)	担当課
IV 男女がともに健やかに過ごせる生活づくり	1 生涯を通じた男女の健康支援	(1) ライフステージに応じた健康支援	<p>1 乳幼児健診の実施</p> <p>① 乳幼児の心身の発達状況を見るとともに、保護者の育児上の不安や悩みについてアドバイスする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・乳児健診 (24回/年) ・1.6歳児健診 (14回/年) ・2.6歳児健診 (14回/年) ・3歳児健診 (14回/年) <p>2 基本健康診査の実施</p> <p>① 受診率を向上させるための普及啓発(特に40～50歳代) (受診者 3,800人/年)</p> <p>3 がん検診の実施</p> <p>① 乳がん検診 (受診者 1,600人/年)</p> <p>② 子宮がん検診 (受診者 1,500人/年)</p> <p>③ 胃がん検診 (受診者 3,000人/年)</p> <p>④ 大腸がん検診 (受診者 4,100人/年)</p> <p>⑤ 前立腺がん検診 (受診者 900人/年)</p> <p>4 若い女性の検診の実施</p> <p>① 18～39歳の女性を対象とした健診(骨密度健診を含む) (受診者 200人/年)</p> <p>5 育児学級、育児相談の実施 (6回/年)</p> <p>6 生活習慣病予防のための健康教育、健康相談の実施 (1～2回/月)</p> <p>7 介護予防のための健康教育、健康相談の実施 (1～2回/月)</p> <p>8 栄養教室、男性料理教室、すこやか子供料理教室等食育に関する教室の実施 (1～2回/月)</p>	<p>1 乳幼児健診の実施</p> <p>①乳児期前期・後期、1. 6歳児、2. 6歳児、3歳児の児を持つ保護者を対象に、一人5回の健診の場を提供している。健診により、児の発達状況の確認とともに、毎回、育児支援アンケートを実施している。アンケートを元に、育児についての不安や悩みをしっかりと聞くことにより、育児不安の軽減を図り、育児についてのアドバイスを行う。</p> <p>また、育児支援アンケートの結果により、要支援、要注意、要指導と指導の優先順位をつけて健診事後フォローを行っている。</p> <p>未受診者については、各担当保健師により、健診再勧奨及び未受診者の状況を把握している。</p> <p>2 基本健康診査の実施状況</p> <p>① 愛育委員さんを通じ、受診票の配布、受診勧奨を行なった。</p> <p>また、オフトーク、有線放送等での広報活動も行なった。</p> <p>平成19年度 受診者 3,263人</p> <p>3 がん検診の実施状況</p> <p>① 乳がん検診 (受診者 1,345人/年 20.4%) がんであった者 1人</p> <p>② 子宮がん検診 (受診者 1,332人/年 16.2%) がんであった者 2人</p> <p>③ 胃がん検診 (受診者 3,515人/年) がんであった者 5人</p> <p>④ 大腸がん検診 (受診者 3,777人/年) がんであった者 5人</p> <p>⑤ 前立腺がん検診 (受診者 752人/年) がんであった者がん発見者 1人</p> <p>4 若い女性の検診実施状況</p> <p>市内4会場で実施。</p> <p>(問診、理学的検査、血液検査、血圧測定、尿検査、身体計測、骨塩量測定)</p> <p>受診者 137人。要検者 5人 要治療者 6人</p> <p>5 育児学級、育児相談を実施し、子育ての方法や疑問、不安、悩みについて個人の生活スタイルや要望にあわせ、解決に向けての支援を行なった。同年代の子どもを持つ親同士の交流も深めることができた。</p> <p>育児相談 延べ33回 育児学級 延べ 39回</p> <p>6 生活習慣病予防、介護予防のための健康教育、健康相談の実施</p> <p>健康教育 118会場 参加延べ人員 896人</p> <p>健康相談 87会場 参加延べ人員 521人</p> <p>7 介護予防のための健康教育、健康相談の実施</p> <p>健康教育 286会場 参加延べ人員 5,349人</p> <p>健康相談 139会場 参加延べ人員 2,494人</p> <p>8 栄養教室、男性料理教室、すこやか子供料理教室等食育に関する教室の実施</p> <p>栄養教室 各地域で10回程度開催。</p> <p>男性料理教室 18会場で開催 参加延べ人員 210人</p> <p>すこやか子ども料理教室 22会場で開催 参加延べ人員 452人</p>	<p>1-①乳児健診 25回(年) 受診者374人 (受診率91.4%)</p> <p>1-①1.6歳児健診 14回(年) 受診者210人 (受診率89.7%)</p> <p>1-①2.6歳児健診 14回(年) 受診者168人 (受診率91.8%)</p> <p>1-①3歳児健診 14回(年) 受診者162人 (受診率97.3%)</p>	<p>健康づくり課</p> <p>健康づくり課</p> <p>健康づくり課</p> <p>健康づくり課</p> <p>健康づくり課</p> <p>健康づくり課</p> <p>健康づくり課</p> <p>健康づくり課</p>

基本目標	方針	施策の方向	具体的施策 (平成18年度～平成23年度)	平成19年度取組事項(具体的に)	実績数値 (単位)	担当課
IV 男女がともに健やかに過せる生活づくり	1 生涯を通じた男女の健康支援	(2) 性と生殖に関する健康・権利についての意識の啓発	1 男女が心身ともに健康であり続けるための意識啓発 ① 思春期ふれあい事業を市内の中学生を対象に実施(市内7中学・13回/年) ② パパとママのすこやか安産教室(10回/年) ③ 不妊治療支援事業の実施 ④ 妊婦健診給付金事業の実施(250件/年)	①ふれあい体験の前に行われる事前授業では生と性の問題について、助産師、医師等から話を聞く。ふれあい体験乳児と保護者の協力を得て交流を行った。また、実施前後にアンケートを行った。(赤ちゃんのかわいさ、親子の絆、両親への感謝等の感想がだされた) ②助産師による講演、実技指導、先輩パパの育児体験の講話や沐浴、妊婦体験の実施(③保険課 事業) ④出生届時に説明を行い、申請を受けた。	市内7中学校で年13回実施 年6回延75名参加 平成19年度出生数198名に給付	健康づくり課 健康づくり課 健康づくり課
		(3) 健康をおびやかす問題についての啓発	1 性感染症予防のための啓発 ① 思春期ふれあい事業におけるエイズ、性感染症予防等についての健康教育 ② エイズ・性感染症検査(高梁保健所) ③ 学校との連携	①中学校及び高等学校と連携し、思春期ふれあい教室やエイズ講座で性感染症に関する講演を行った。 ②世界エイズデーに併せた知識普及啓発活動等や検査、相談を保健所で実施	①5中学、2高等学校での出前講座の開催、思春期ふれあい教室の講座として6中学で実施 ②相談18件、検査19件	健康づくり課 健康づくり課
	2 安心して子育てできる環境の整備	(1) 子育て支援対策の充実	1 保育体制の整備 ① 保育園の充実(延長保育)(4園) ② 学童保育の充実(13箇所) ③ 保育サロンの開催(36回/年)(毎月第1,2,3土曜日)未就園児親子を対象としたふれあいの場 ④ 児童虐待の関係機関との連携 ⑤ 幼稚園の3年保育及び預かり保育(3年保育12園・預かり保育10園)	1 保育体制の整備 ①保護者のニーズに対応し11時間保育を行っている。保育時間の延長も4園で行った。 ②平成20年4月から新たに1学童保育を実施するため、保育室、備品等の整備を行った。 ③高梁保育園内で保育サロンを実施した。 ④高梁子育て支援ネットワーク(要保護児童対策地域協議会)で、児童虐待案件、ハイリスク家庭の情報の共有を図った。 ⑤3年保育及び預かり保育の継続実施を行った。	(19年度実績) 3年保育12園 預り保育10園	社会福祉課 社会福祉課 社会福祉課 社会福祉課 学校教育課
			(2) 地域ぐるみでの子育て支援の推進	1 子どもの安全確保等地域防犯の推進 ①青色回転灯による自主防犯パトロール隊の結成促進 2 母親クラブの充実に向けての支援 ① 地域活動への参加、各種団体との交流など(各地域・各地区で7～8回/年) 3 子ども会活動の支援	1 子どもの安全確保等地域防犯の推進 ①定期的に地域のパトロールを行った。 ①各地域での運動会をはじめとしたまちづくり活動へ組織として参加。すこやかプラン推進会議、保健福祉医療懇談会へ代表者が出席。市内各地域の母親クラブの支部組織同士、の交流をはかるため研修会を開催 3. 子どもの日記念事業として習字・写生大会を実施した。まなびピア岡山協賛「子育てふれあいフェスティバル」に子ども会連合会として参加した。	H19年度新規1団体(計5団体) 市内8団体16組織 会員約200名 各地域での研修会の開催 各地域1回開催

基本目標	方針	施策の方向	具体的施策 (平成18年度～平成23年度)	平成19年度取組事項(具体的に)	実績数値 (単位)	担当課
IV 男女がともに健やかに過せる生活づくり	2 安心して子育てできる環境の整備	(3) ひとり親家庭への支援	1 ひとり親家庭の自立促進と支援 ①児童扶養手当の充実 ②母子自立支援相談	1 ひとり親家庭の自立促進と支援 ①国の制度により、適切に手当の給付を行った。 ②生活一般相談(住宅、家庭紛争、就労、養育費等)、児童の養育・教育相談、母子寡婦福祉資金等貸付相談を実施した。	②平成19年度相談実績総数 269件	社会福祉課 社会福祉課
	3 高齢者・障害者が安心して暮らせるための支援	(1) 高齢者・障害者の福祉の充実	1 高齢者への支援 ① 地域包括支援センター等による支援体制の充実 ② 高齢者福祉サービスの充実 ・寝具類洗濯乾燥消毒サービス(2回/年) ・軽度生活支援サービス 他 ③ 各種介護サービスの充実 ・介護保険各種サービスの充実 ・介護予防教室等各種サービスの充実 ・住宅改修等支援 他 2 障害者への支援 ① 障害者自立支援法による障害福祉サービスの利用促進 ② 地域生活支援事業サービスの充実(地域生活支援センター) ③ 移動支援等の充実 ④ 障害者(身体、知的、児童)福祉サービスの充実 ・居宅介護(ホームヘルプ) ・自立訓練支援 ・共同生活援助(グループホーム) ほか ⑤ 安心して相談できる相談体制の充実	1 高齢者への支援 ① 保健師、社会福祉士、主任介護支援専門員の専門的なスタッフを配置し、介護予防マネジメント、高齢者や家族の総合相談、虐待の防止・早期発見、高齢者及び障害者の福祉の増進を図るため成年後見制度利用支援など、高齢者等が住み慣れた家庭や地域で暮らし続けるよう支援を行った。 ② 緊急通報装置の設置：高齢者の見守体制整備事業として緊急通報装置を設置した。 寝具類洗濯乾燥消毒サービス：高齢者世帯等のふとん等の洗濯・消毒・乾燥を行った。 その他、軽度生活支援や生きがい対応型デイサービスなど高齢者に福祉サービスを行った。 ③ 地域包括支援センターでは、予防給付対象者の介護予防プランを作成し要支援状態の改善や重度化予防を図り、介護(転倒骨折)予防教室開催や住宅改修への支援等を行い高齢者の在宅生活が継続できるように支援した。 ④障害福祉サービスを充実させることで、介護者の社会進出を促進するため、特に地域生活支援事業のうち移動支援、日中一時支援、訪問入浴サービス事業の利用を促進。 ⑤健康づくり課、社会福祉課、各地域局住民福祉課で関係機関と連携しながら対応。平成20年度において相談支援事業を民間の専門事業所への委託を検討。	⑤支給決定者数 移動支援 40(12) 日中一時 32(16) 訪問入浴 1(1) ()内はH18値	高齢福祉課 高齢福祉課 高齢福祉課 社会福祉課 社会福祉課

基本目標	方針	施策の方向	具体的施策 (平成18年度～平成23年度)	平成19年度取組事項(具体的に)	実績数値 (単位)	担当課
IV 男女がともに健やかに過せる生活づくり	3 高齢者・障害者が安心して暮らせるための支援	(1) 高齢者・障害者の福祉の充実	3 介護者への支援 ①地域包括支援センター等による支援体制の充実 ②介護支援体制の充実 ・介護用品の支給 ・家族介護者元気回復事業 他	3 介護者への支援 ① 社会福祉士及び保健師等により介護者への介護相談や家族介護継続支援事業等を実施し支援を行った。 ② 介護用品の支給：要介護4・5の高齢者(市民税非課税世帯)を自宅で介護している介護者にオムツ等の介護用品を支給した。 家族介護者交流事業：介護者の心身のリフレッシュを図るために、日帰りや1泊旅行を行い、介護者同士の交流会を開催した。 家族介護教室：高齢者を介護している家族等に、介護方法や介護予防、介護者の健康づくり等の家族介護教室を開催した。 在宅介護者激励慰労金支給：要介護4・5の高齢者(市民税非課税)を自宅で介護していて、過去1年間に介護保険サービスを利用しなかった介護者に支給した。		高齢福祉課 高齢福祉課
		(2) 高齢者・障害者の社会参加の促進	1 高齢者への支援 ① 高齢者の社会参加の促進 ・老人クラブ活動への支援 ・高齢者スポーツ大会等の開催支援 ・外出支援サービス 2 障害者への支援 ① 障害を持つ人が社会参加するための支援 ・さざんか憩いの家共同作業所、こだまの集い共同作業所の通所促進 ・地域への「心のバリアフリー」の意識啓発 ② 生きがいを持って生活を行うための支援 ・雇用・就労の支援 ・交流機会の充実 障害者スポーツ大会の開催(1回/年)	1 高齢者への支援 ① 高齢者の社会参加の促進 ・老人クラブ活動への支援 老人クラブの活動を促進し、健康と福祉の向上を図るため、各単位老人クラブ及び老連に補助金を交付した。 ・高齢者スポーツ大会等の開催支援 高齢者の健康増進を図るため、スポーツ大会を実施した。 ・外出支援サービス (社)高梁市社会福祉協議会へ委託し福祉移送サービスを実施して、高齢者の社会参加促進を図った。 2 障害者への支援 ①平成19年度より市内2作業所を特定非営利活動法人ハピネスたかはし会が運営。施設長、指導員体制を強化、地域生活活動支援事業、生活訓練事業を展開して作業所利用促進を図った。 ②精神障害者理解のための啓発活動として講演会を開催。市内の保健福祉関係団体の出席を呼びかけた。 ②障害者スポーツ大会開催による交流促進を行う。(7/21(土))	単位老人クラブ 6,650,480円 地域老人クラブ 725,000円 市老人連 899,476円 スポーツ大会 250,000円 福祉移送サービス 22,606,587円 ①作業所通所会員数43名利用延べ人数3579人 ②講演会年1回開催、参加者数56名	高齢福祉課 高齢福祉課 高齢福祉課 健康づくり課 健康づくり課 社会福祉課